

競技上の注意事項**1. 競技規則**

- (1) 本大会は、令和6年度（財）日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
ただし、別に定める小学生バレーボール・フリーポジション制及びローカルルールを用いる。
○コートのはさは、8m×16m、ネットのはさは2mとする。

(2) 混合Aの部

- ①コート内には、男子及び女子が常に1人以上であれば、男女混合チームとして編成することができる。（男女比は問わない）
②競技者交代は(2)-①に示した割合を守れば男女に関係なく競技者交代をする事が出来る。

2. 競技方法

- (1) 予選リーグ戦の後、決勝トーナメント戦を行う。
(2) 得点方法、21点のラリーポイント制を採用し、2セット先取とする。デュースの際は2点差がつくまでとする。第3セットに関しては、15点制で行う。
(3) 各セットリードしているチームが11点に達した時点で副審の吹笛により30秒間の水分補給(テクニカルタイムアウト)が適用される。3セット目は8点時(チェンジコート後)とする。
(4) 試合は追い込み形式で行い、試合終了後5分後に試合を開始できるように準備し、3分間の打ち合いの後、試合を開始する。連続する場合は15分後に試合を開始する。
(5) 男子A・女子Aの部の決勝戦のみ公式プロトコールを採用する。
(6) 有効に登録された者以外のベンチ入り及び公式練習参加は認められない。

3. 服装

- (1) 監督・コーチ・マネージャーの服装は、襟付きシャツ・トレーニングパンツを着用し、必ずシューズを履くこと。短パン・Tシャツは不可とする。ただし、児童がマネージャーの場合は認める。
(2) 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸部に着用すること。

4. チームスタッフ及び選手の変更

参加申込書に記載されたチームスタッフ及び選手の変更（背番号の変更・誤字の訂正を含む）に関しては、島尻小連ホームページに掲載されたエントリー変更届けにその旨を記入し、大会初日監督会終了時まで、各会場（競技委員）に提出し、承認を得ること。それ以降は認めない。
2日目の変更はチームスタッフのみ変更を認める。監督の変更はそのかぎりではない。

5. 大会使用球

男子A、混合A、共通B=ミカサ球 **女子A=モルテン球**を使用する。

6. 予選グループ戦における順位の決定方法

- (1) 勝ち数
(2) 同勝敗の場合
○四角リーグの対角チームが同勝敗の場合は、1セットマッチ（21点）の決定戦を行う。
○隣チーム同士が同勝敗の場合は、直接対決の勝敗を優先し順位を決定する。

○三角、四角リーグにて全て同勝敗で並んだ場合、得失セット率、ポイント率により順位を決定する。

・得失セット率

＝得たセットの総数 ÷ 失ったセットの総務（率が大きい方が勝ち）

・ポイント率

＝総得点数 ÷ 総失点数（率が大きい方が勝ち）

7. 各試合会場におけるコートでの練習

(1) 各チームとも試合開始前に5分間の割当練習を1回のみ行うことができる。

(2) 各会場とも、コートの準備が終了し、競技委員からのアナウンスがあるまでアリーナに入ることはできない。

(3) 試合終了後は試合間が5分のため、3分間の打ち合いの後、試合を開始する。（練習がまだのチームはその限りではない。）ただし、連続試合の場合はパスのみの練習を可とする。（割当練習が1チームの場合、相手チームは練習をしてはならない。）

(4) 建物内のアリーナ以外でのボールを使つての練習は絶対に行わないこと。（玄関やピロティ、屋外でのボールの使用は禁止）また、屋外でのアップを行う場合は、上・下履の区別をすること。

8. シードについて

本大会は全カテゴリをノーシードとしフリー抽選とする。

9. 抽選方法

(1) 会場校チーム抽選

(2) 2チーム申込んだチーム

(3) その後の抽選は申込み順にて行う。

10. その他

(1) ベンチには、競技上必要な飲料水・救急用具以外の物品を持ち込まないこと。また飲料水は、床にこぼさないよう注意すること。（スクイズボトルを使用すること）

(2) 応援団の応援旗及び団旗は、試合のあるチームのみが掲示し、その際プレーに支障のないようにすること。

(3) 審判やラインジャッジへの批判・暴言は厳に慎むこと。

(4) 選手への体罰・暴言・威嚇等の行動は、絶対禁止とする。

※上記の事項を、各チームの指導者は十分考慮すると同時に、各チームの応援団（保護者会）へも指導を徹底すること。

※ 会場責任者は競技終了後、逐一試合結果をメールまたはLINEで報告下さい。
宜しく願いいたします。

